

製品名: SgK269 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17821**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	195kDa

抗原情報

遺伝子名	PEAK1
別名	PEAK1; KIAA2002; Pseudopodium-enriched atypical kinase 1; Sugen kinase 269; Tyrosine-protein kinase SgK269
遺伝子 ID	79834.0
SwissProt ID	Q9H792
免疫原	抗血清はヒト SGK269 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

背景

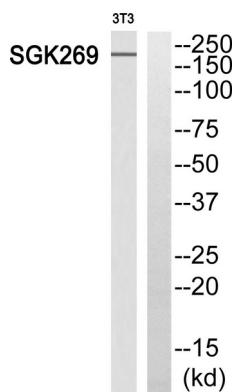
この遺伝子は、新規キナーゼファミリー 3 (NFK3) に属する非受容体型チロシンキナーゼをコードしています。遊走細胞において、

コードされているタンパク質はアクチン細胞骨格および接着斑と会合し、接着斑の伸長を促進します。このタンパク質は、細胞遊走、増殖、および癌転移の調節に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2014年3月],触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、

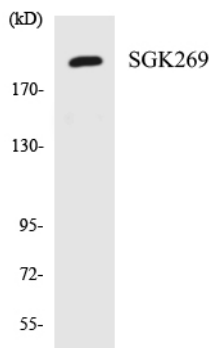
研究分野

がん、シグナル伝達、タンパク質リン酸化、チロシンキナーゼ、細胞骨格/ECM、細胞外マトリックス、構造、接着斑

画像データ



SGK269 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは SGK269 ペプチドでブロッキングされている。



SGK269 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。